

会 議 名	令和6年度 第1回八王子市食育推進会議	
日 時	令和6年7月25日(木) 14時30分～16時00分	
場 所	八王子市保健所 4階401会議室	
出席者氏名	委 員	横田 由香里、加藤 直樹、野下 清子、松本 賢一、岡部 貴代、佐藤 高雄、小池 さとみ、内藤 里美、浦野 慎一、松久保 雅和、能渡 規子、榎本 愛子、池田 博、角 宏美
	事 務 局	鷹簀保健所長、白石保健総務課長、野口主査、茂木主任、秋廣主事、上地
欠 席 者 氏 名	峯尾 誠、米津 元一	
議 題	(1)「第3期八王子市食育推進計画」の令和5年度実績及び評価について (2)「第4期八王子市食育推進計画」策定に係る市民意識調査について (3)食育に係る取組について ア 食環境整備事業について イ 食育イベントについて	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	次第 資料1 八王子市食育推進会議委員名簿 資料2 八王子市食育推進会議開催要綱 資料3-1 第3期八王子市食育推進計画令和5年度評価取組一覧 資料3-2 第3期八王子市食育推進計画における取組一覧 資料4 第4期八王子市食育推進計画策定に係る市民意識調査の実施について(案) 第3期八王子市食育推進計画策定に係る市民意識調査報告書(冊子)	

【会議の内容】

《開会》

発言者	内容
保健総務課長	<p>定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第1回八王子市食育推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本推進会議は設置要綱にもございますように、八王子市における食育に関する取組を総合的な見地から協議、意見交換を行う場としております。また、本食育推進会議は原則、公開となっていることから、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了解ください。</p> <p>なお、議事録については、議事録案を作成し、皆様にご確認を行っていただいた後、本市のホームページで公開します。議事録における委員の発言については、これまでと同様に委員の皆様</p>

	<p>様の個人名は記載せず、「委員」と表記させていただきます。</p> <p>また、本日配布しております資料1の名簿については、この内容でホームページに公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>【委員了承】</p> <p>八王子市食育推進会議開催要綱、第5条により、会議の進行を保健所長にお願いします。</p>
保健所長	<p>議事に入ります。議事1「第3期八王子市食育推進計画の令和5年度実績及び評価」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第3期八王子市食育推進計画の令和5年度実績及び評価についてご報告させていただきます。</p> <p>配布資料の3-1 第3期八王子市食育推進計画 令和5年度評価取組一覧をご覧ください。実績については記載のとおりで、104 個の評価取組のうち、101 個の取組が A 評価、1 個の取組が B 評価、2個の取組が D 評価となっています。</p> <p>まず、B 評価と D 評価について説明します。B 評価の取組は、47 番の特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率についてです。特定健康診査の受診率については、東京都と同水準、特定保健指導の実施率については、東京都より高い実施率を保持していますが、国が定めた市町村国保の目標値が高い数値であるため、目標値に達することが難しい状況であるとのこと。特定保健指導の土日開催や ICT の活用等を取り入れ、実施率向上を図っているとのこと。</p> <p>続いて、D 評価の取組についてです。取組番号 25 番 26 番の児童館との食育連携事業の実施についてです。こちらについては、当初児童館での料理教室を行う予定でしたが、令和5年度に児童館が子ども・若者育成支援センターに改められ、対象が子どもから若者を含めた幅広い対象となったことで、小学生向けの事業に力を入れることが難しくなってしまったため、事業の実施ができなくなったとのことで、評価不能としています。</p> <p>続いて、A 評価の中から、令和5年度に新たに取組んだことや達成できた取組について、いくつかご報告させていただきます。</p> <p>始めに、取組項目 21 番についてです。令和5年度に給食センター檜原が開設し、食缶・ランチボックス方式の給食もスタートしたため、中学生の全員給食が実現しました。また、今年度には給食センター寺田が開設し、自校・親子方式を除く全ての中学校に給食センターから給食の提供が可能となります。</p> <p>続いて、取組項目 33 番です。大学との食育連携事業についてです。令和5年度に、八王子市保健所と東京家政学院大学、健康応援店であるスーパーアルプスで産学官連携を行いました。学生が野菜たっぷり塩分控えめの健康に配慮したお弁当を考え、スーパーアルプス全店舗で販売しました。販売開始から2週間で6000個近くの販売実績があり、多くの方に手にとっていただきました。</p> <p>続いて、取組項目 67 番です。八王子市は令和4年度に公益財団法人東京都栄養士会と災害時における栄養・食生活支援活動の協力に関する協定を締結しました。それにより、東京都栄養士会と連携した活動が可能となりました。令和5年度には、八王子市の栄養士と東京都栄養士会が合同で食育イベントや総合防災訓練に参加し、災害時の栄養や食事について、市民へ普及啓発を行いました。</p> <p>続いて、取組項目71番です。小学校給食で提供している八王子ゆかりの献立である日本遺産献立を含む「桑都・八王子のふるさと料理」が文化庁の100年フードに認定されました。100年フ</p>

	<p>ードの詳細については、リーフレットをお配りしている他、室内に掲示しているパネルにも詳細が書かれているので、ぜひご覧ください。</p> <p>以上で、第3期八王子市食育推進計画の令和5年度実績及び評価について説明を終わります。</p>
保健所長	<p>事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>私からの質問ですが、先ほどの説明の中に、「パッククッキング」とありましたが、パッククッキングについて、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>パッククッキングは、耐久性のあるポリ袋を使用し、鍋で湯煎をする調理方法のことです。お米を炊いたり、野菜や卵などを使った簡単な調理をすることができます。パッククッキングは、1つの鍋で複数の調理ができるため、災害時に役立ちます。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。実際に総合防災訓練でもご協力いただいている委員より一言お願いいたします。</p>
委員	<p>今年の市民食育イベントでは、市民の方々とゆっくり話をする時間があり、市民の方々に東京都栄養士会と八王子市が災害協定を結んでいることを話せました。もし災害があった時のために、給食センターを「特殊栄養食品ステーション」として活用する旨を市民の方々に説明しました。「特殊栄養食品ステーション」では、特別な食事が必要な方たちの為の備蓄食や、赤ちゃん用の液体ミルクなどを備蓄します。このような取組の説明に対して、市民の方々から「すごく心強いですね」というような声をいただき、大変やりがいのある食育イベントでした。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご質問・ご意見はございますか。【質問・意見なし】</p> <p>続いて、議事2「第4期八王子市食育推進計画策定に係る市民意識調査について」です。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元の資料4及び令和元年度に行った市民意識調査報告書をあわせてご覧いただければと思います。</p> <p>現行の「第3期八王子市食育推進計画」は、計画期間が令和3年度から令和7年度までとなっており、令和8年度から第4期の計画期間が始まります。そのことから、来年度には次期計画の策定作業を本格化させる予定です。それに先立ちまして、「食」に関する市民の意識や行動等について現状を把握し、次期計画策定の基礎資料とするための意識調査を今年度行う予定です。</p> <p>具体的な実施時期は、今年の10月下旬ごろで、調査期間は2週間程を予定しています。調査対象は、前回同様に、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人と市内の大学生200人で、この合わせた2,200人を対象とした調査を「市民意識調査」とし、それとは別に、幼稚園児・保育園児・小学生のそれぞれの保護者、そして、中学生と高校生を合わせた2,000人を対象に「子ども意識調査」として実施してまいります。</p> <p>調査の方法ですが、「市民意識調査」は調査票を郵送し、回答は紙ベース又はWEBで回収します。「子ども意識調査」は、対象施設において、調査票を配布のうえ、紙ベースで回収します。</p> <p>調査項目ですが、こちらも基本的には前回同様、食育への関心や食生活についての項目をはじめ、健康の状況、地産地消、市の食育事業などについての項目を設定する予定です。</p> <p>なお、子ども意識調査においては、主に食生活などについて聞く予定です。</p> <p>前回の調査は、令和元年度の秋に実施しておりまして、それから丸5年が経過しております。そ</p>

	<p>の間、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大や、歴史的な物価の高騰、さらには、今年元日の能登半島地震の発生など、社会情勢に大きな変化や出来事が生じた5年間でもあったかと思えます。それらの社会情勢の変容が、市民の食に関してどのように影響を与えたかといったことも分析できればと考えております。</p> <p>そのことから、今回の調査において、前回調査と同じ質問をし、5年間の意識の変化を比較することも必要ですし、また一方で、社会情勢等に応じた新たな質問を加えたり、言い回しを改めたほうがよいといった質問もあるかもしれません。</p> <p>ちなみに、前回の調査にあたり、例えば、手軽に始められるベジタブルファーストを推奨していく観点から「ベジファースト」に関する質問(問10, 11)を加えたり、また、国の計画の重点課題の一つとなっている「食品ロス」に関する質問(問16, 17)加えたりしましたが、これらは、委員の皆様からご意見をいただいたものでした。</p> <p>また、同じように、幼児と小学生の保護者に対する調査では、保護者自身に関する質問(問7～11)も設けて、親子の食事内容が同一か否かを調べるようにもいたしました。</p> <p>今回も、本日委員の皆様から頂戴したご意見や、市の栄養士で組織する八王子市栄養士連絡会などからの意見を踏まえながら、質問項目を決定していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。以上です。</p>
保健所長	<p>事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>前回の調査と基本的には同じ項目で、言い回しを変えたり、コロナを経て追加した方がよい項目などにつきましては、委員の皆さまからも、本日または今後しっかりご意見をいただきたいと思っております。私立保育協会からご意見があればお願いいたします。</p>
委員	<p>子ども意識調査の対象である4・5歳児と少し別の話になってしまうかと思うのですが、その年齢よりも小さいお子様は、形態が丸い食材だと窒息する可能性があります。そのために、保育園では、例えば、プチトマトはすべて切って提供するという状況です。また、お弁当をもってきたときに、誤嚥が起こらないように、保護者に食材を切ってもらうようお願いしています。なので、食育のところで誤嚥の問題がどうなのかなと気になります。</p>
委員	<p>市内の幼稚園ですと、給食をやっていない園もあります。お弁当を作っているご家庭もあるので、その方々へは少し違った形で食育に関する内容をお聞きし、抽出するということができるのではないかと思います。</p>
委員	<p>学校給食では、八王子市は、子どもたちに食に関心を持たせてくれるような取組を沢山してくださっていると感じます。例えば、今回、紹介のあった学校給食の取組「100年フード」では、桑の葉を使った「桑都揚げ」や地元でとれる玉ねぎを使用した「八王子ラーメン」など、すごく工夫して子どもたちの食欲を高めるような取り組みがあることを感謝しています。学校給食会でも、八王子の給食が素晴らしいということを給食主任の方や栄養士さん、調理員さんの方に何度もお伝えしております。なので、保護者の方々にも、このような取組が浸透していくと良いなと思います。</p> <p>また、食生活が豊かになったことで学校給食やアレルギーなどに関してもまだまだ理解されていないことも多いので、家庭の食生活を見直していけるような取組ができるといいのかなと思います。しかし、保護者の実態としては、忙しいために家で料理をする時間がなかなかないという、ご家庭がかなりあるので、現実的には取り組むことが難しいとも思います。ただ、そのような願望はあります。</p>
保健所長	<p>保護者の立場という観点からPTA 联合会から、ご意見お願いします。</p>

委員	<p>保育園の栄養士をしております。保育園でも、ご家庭の朝ごはんは単品の食事をする子が多く、特にパンのみ、おにぎりのみ、という食事が多いと感じます。ご家庭では、仕事をする方が増えたのでこのようなことも多くなると思います。また、保育園だけでなく、中学校でも給食の「牛乳離れ」がありまして、牛乳を飲めない子、嫌いな子が増えて、牛乳の残食も驚くほどあります。子どもたちの成長のためにカルシウムを摂取することが必要なため、実際に家や保育園で子どもたちに牛乳を飲んでもらうように促していますが、なかなかうまくいかないことがあります。献立上で牛乳を取り入れることは、カルシウムを摂取する上で、大変便利ではあるのですが、牛乳ではなく代替えとなる食品や献立を考えていただけると良いと思います。</p>
保健所長	<p>今回、市民委員でご参加いただいているお二人のお子様も、普段、学校給食を食べていると思いますが、お子さんの年齢的に、お子さん自身でアンケートをお答えしていただけるという点から、何かご意見ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>近年、家族構成が変化してきていると思います。資料の中から、朝ごはんを食べられない、食べていないという状況から、様々なご家庭の事情があるかと感じました。特に父子・母子家庭などに対して、少しでも寄り添えることができるのであれば、質問項目等の内容の言い回しなどに配慮すると良いと感じました。</p>
委員	<p>私は、日頃から、子どもの小学校や保育園の給食献立をベースに、お家での食事を何にしようか考えています。先ほど委員のご意見でもありました、朝食を食べない家庭があることについて、私の家庭でも該当するところがありまして、朝の限られた時間の中で、いくらバランスの良い朝食を用意しても、結局子ども本人が食べると言わないと、食事をしてもらえないという現状があります。なので、食事のバランスも大事かもしれませんが、個人的には、親が忙しくしていると、食事を準備しても食べてもらえないということもあるので、栄養面だけでなく、日常生活という面も重要だと感じます。</p>
保健所長	<p>ご意見ありがとうございます。食事というのは、生活の基本であると思います。私の子育て経験からも、やはり親が忙しそうにしていると、子ども一人だけで食事をしてもらうというのは難しい話ですよね。</p> <p>これまで、皆様から子ども調査のを中心にご意見をいただきましたが、それ以外にも、全世代への調査も行いますので、そちらの内容に関して、何かご意見がある方がいらっしゃいましたらお願いします。</p> <p>ご質問・ご意見はございますか。【質問・意見なし】</p> <p>本日本日予定しておりました議事はここまでです。先に次の議題に進んでから、皆様からご質問・ご意見等をお伺いしたいと思います。それでは、これより報告事項に移ります。事務局より「食育に係る取組について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>食育に係る取組について報告をさせていただきます。その前に、既にご存じの方もいらっしゃるかとは思いますが、「食環境整備」とはなにか、についてお話いたします。</p> <p>八王子市は食育を通して、市民の健康寿命の延伸を目指しています。健康寿命の延伸をするには、市民が自然と健康になれる食環境づくりが必要となります。市民一人一人が努力をして健康になるのではなく、普段の生活の中で健康になれる食環境を整備することが大切です。例えば普段コンビニなどで買ったお弁当を食べるときに、気づいたら減塩のお弁当を食べていた、気づいたら野菜がたくさん食べられるお弁当だったといったように、自然と健康につながる行動をとっている環境を作ることが大切だと考えています。</p> <p>そのために、栄養士だけでなく、保健師、歯科衛生士、事務職が一体となり、市民が健康的な食</p>

生活を送るためにさまざまな支援を行っています。また、食環境整備事業を行っていくためには、こちらの図のように、様々な企業や団体の皆さんと連携していく必要があります。

八王子市では、食環境整備事業の一つとして、「はちおうじ健康応援店」の事業を行っています。本日、お配りしましたファイルの中に、青い紙の「はちおうじ健康応援店」と書かれたリーフレットがありますので、ぜひそちらと一緒にご覧ください。「はちおうじ健康応援店」とは、八王子市内の飲食店(外食産業等)やスーパーなどと協力し、市民の皆さんが健康に配慮された「カラダに優しい食事サービス」が受けられるお店のことをいいます。現在は、160 を超えるお店が健康応援店として登録されています。

はちおうじ健康応援店が行っている主な取組は、「野菜摂取」や「減塩」、「食事量の調節」が挙げられます。「野菜摂取」では、「ベジファーストの推奨」、「野菜たっぷりメニューの提供」などがあります。

前方のスライドをご覧ください。ベジファーストとは、食事をする際に、野菜を最初に食べることをいいます。野菜を先に食べることで、急激な血糖値の上昇を緩やかにしたり、食べ過ぎを防ぎ、糖尿病や肥満防止にもつながる効果があります。

「減塩」の取組では、「薄味サービス」や「減塩に関する備品の設置」があります。前方のスライドをご覧ください。備品の設置では、こちらの写真の穴あきレンゲやスプレー型醤油さしのような備品の設置があります。

「食事量の調節」は、「主食やおかずの少なめサービス」があります。こちらの項目は、食べ残しや食品ロスの防止にもつながるため、健康応援店と同時に「完食応援店」というもう一つの市の取組にも登録することができます。健康応援店を利用した市民は、意識をしなくても、自然と健康に配慮した食事をとることができます。右に示している画像は、はちおうじ健康応援店に登録している店舗の目印となるステッカーです。

続いて昨年度に行った、はちおうじ健康応援店の事業について3つご紹介します。

まず1つ目です。はちおうじ健康応援店であるスーパーアルプスと民間企業の味の素株式会社と保健所が協働で事業を展開しました。味の素と保健所の栄養士で減塩レシピを考案し、味の素がリーフレットを作成、スーパーアルプスでレシピの配布を行いました。こちらのリーフレットも本日お配りしていますので、ご参考にご覧ください。味の素の身近な調味料の商品を使いながらも、ちょっとした調理の工夫で減塩と美味しさを両立でき、無理なく減塩習慣を身につけられるよう工夫されています。

続いて、2つ目です。同じく健康応援店のスーパーアルプスと東京家政学院大学と保健所が産学官で連携し、協働でお弁当を開発しました。学生がスマートミールの基準を満たした、健康に配慮したレシピを考案し、スーパーアルプスで販売していただきました。スマートミールとは、主食・主菜・副菜がそろい、かつ野菜がたっぷり、食塩のとりすぎにも配慮した食事のことをいいます。こちらのお弁当も、美味しく食べ応えがありながら、カロリーや塩分量が調整されていて、野菜がたくさん食べられるお弁当となっています。

最後3つ目です。はちおうじ健康応援店であるスープカレーで有名な奥芝商店と東京家政学院大学と保健所が連携し、協働でメニューを開発しました。学生のみなさんが、「野菜をたっぷり食べられて、見栄えがよく若い世代にも興味を持ってもらえるようなメニュー」として、こちらの商品を

	<p>考案しました。こちらの商品の特徴は、イカ墨を使用しているのでスープが黒く、夏野菜が 350g 以上入っているので野菜をたっぷりとることができる商品となっています。こちらは、奥芝商店の片倉城店で販売していただきました。</p> <p>以上が、昨年度、主に行った事業となります。食環境整備事業についての報告は以上です。</p>
事務局	<p>八王子市では、楽しみながら健康や食育について学んでいただくために、イベントを実施しています。私からは、今年度保健総務課で行った2つのイベントについて報告をさせていただきます。</p> <p>まず 1 つ目は健康フェスタ・食育フェスタです。こちらのイベントは、毎年5月の第3日曜日に開催しています。例年エスフォルタアリーナで行っていましたが、今年度はこちらの建物、東京たま未来メッセと、旧保健所跡地のえきまえテラスで実施しました。駅近でアクセスがよいこともあり、昨年度の 1 万人を大幅に上回る約1万7千人の方にご来場いただきました。</p> <p>主な出展団体です。今年度はブースを体験ブース、健康ブース、食育ブース、からだチェックブースの 4 つのテーマに分け、51 の団体に出演いただきました。食育推進会議委員の皆様にも多くご出展・ご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>当日の様子を紹介します。左上の写真は有限会社ビーアウェイクと健康づくりサポーターがコラボで行った体験ブースです。こちらのブースでは、歩行のデータが取れるベルトを巻いて歩いていただき、歩行筋力の特徴を分析します。データに基づいてビーアウェイクがアドバイスを行い、健康づくりサポーターが歩き方を改善するための体操を指導するという内容でした。来場者からは「体操のアドバイスまでしてもらってよかった。」と好評でした。右上の写真は八王子地域活動栄養士会の食育ブースです。こちらのブースでは、食品カードを使って、三色食品群に分類しながらバランスの良い献立を立てるゲームを行っていました。お子様から高齢者まで、食事のバランスについて楽しんで学んでいました。来場者アンケートでは、90%の方が当イベントで健康づくりや食育・食の大切さを意識するきっかけづくりになったと回答がありました。</p> <p>2 つ目は市民食育イベントです。こちらのイベントは農林水産省が提唱する「食育月間」である 6 月に開催しています。ショッピングモールで実施することで健康に関心が薄い方や子育て世代の保護者に気軽に立ち寄っていただけるイベントで、イーアス高尾では令和3年度から行っています。</p> <p>出展団体の一覧です。イーアス高尾のテナント企業や地域で活動されている栄養士団体の方をはじめ、11 団体に出演いただきました。</p> <p>当日の様子を紹介します。右上の写真は東京都栄養士会と八王子市栄養士の災害対策検討部会のブースです。こちらのブースでは、災害用備蓄食料や災害食レシピの配付などを通じて、来場者に災害時の食事への備えについて意識を高めてもらえるよう啓発しました。左下の写真は株式会社サンドラッグと八王子市健康医療部保健福祉センターのブースです。こちらのブースでは、血管年齢測定や野菜摂取度測定を行いました。お子様も野菜摂取度測定を行い、日々の野菜摂取について興味を持っている様子でした。来場者アンケートでは、99%の方が当イベントが普段の食生活を振り返るきっかけとなったと回答されました。市民からは、「野菜をもっと食べます！」や、「防災ブースでアイラップを使った調理について伺ったので、今後自宅で試してみたい。」などの声</p>

	<p>がありました。</p> <p>食育イベントは健康フェスタ・食育フェスタの時期と近いとため、来年度に向けて、開催時期を検討する予定です。来年度も皆様のお力添えをいただき、食環境整備事業やイベントをより良いものにしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。イベントについての報告は以上です。</p>
保健所長	<p>事務局の説明が終わりました。今年度取り組みました食育に関するイベントについて2種類ご説明させていただきました。本日までご参加いただいている、委員の皆様の所属団体にも、何年も多大なご協力をいただいておりますが、医師会の立場から一言お願いいたします。</p>
委員	<p>関係の無い話になってしまうのですが、健康応援店に認定する場合、八王子市で認定をしているのでしょうか。基準はあるのでしょうか。</p>
保健所長	<p>基準に基づいて八王子市で認定しています。</p>
委員	<p>健康応援店の一覧を見たのですが、全面喫煙可というお店がありますね。それは健康応援店以前の問題だと考えていますが、その辺りはチェックされていますか。</p>
事務局	<p>健康応援店の認定基準の中には禁煙という項目が入っていないのが現状です。健康増進法が令和2年から改正されて飲食店は原則として禁煙になっています。健康応援店での喫煙の状況が法に沿ってなされているか、今後健康応援店を訪問した際は、確認していきたいと思っております。</p>
保健所長	<p>ご指摘ありがとうございます。 次に歯科医師会の立場からお願いいたします。</p>
委員	<p>私は、健康応援店にどのようなお店があるのか確認していないのですが、和食・洋食・中華などのいろいろなお店が160店舗くらい登録されているのですか。</p>
事務局	<p>その通りでございます。</p>
委員	<p>意識調査で見たところ、健康のために心がけていることで食生活を選んだ人の割合が6割と高く、若い方も多く意識しているのだなと思えました。今は高齢の方が多くなっていて、減塩で健康にいいようなメニューの配達や、テイクアウトなどで健康食を広げられるようになったら更にいいなと思えました。また、こういった情報はどのような場所でわかるようになっていきますか。広報はちおうじに載っていますか。</p>
保健総務課長	<p>6月の食育月間に合わせて特集ページを組み、そこで紹介をするなどしています。問題として、せっかく健康の意識を高めてもらったお店にインセンティブを出せないということがあるので、広報活動を行っていかねばならないというのは、私たちの課題と思っています。</p>
委員	<p>こういうものが増えて、広がっていくのはいいなと思えました。</p>
保健所長	<p>ご意見ありがとうございます。 栄養士会の立場からはどうですか。</p>
委員	<p>ありがとうございます。八王子地域活動栄養士会で今ご案内いただいたフェスタや、イベント、味の素さんと保健所さんとの共同で、減塩レシピを作るなど、色々参加させていただいています。 別の委員の方もおっしゃっていましたが、市民の方々は食に関してすごくモチベーションが高くなっていると感じていて、すごくいいなと思っています。 ぜひ地域で活動している栄養士をたくさん使っていただいて、沢山やりたいことがあるので、お声掛けしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。 高齢者に関しての食事支援ということで日々ご活動、ご活躍をされている立場からはどうですか。</p>

委員	<p>私どもは館ヶ丘団地で地域食堂をしております。先ほど健康応援店のお話があったのですが、私も5年前、この食育推進会議に参加させていただいて、健康応援店をその場で初めて知り、食べきりサイズとか、食品ロス、減塩というところで応募させていただきました。それから街中でこのポスターを見るようになっていますが、まだまだ周知は足りていないのかなというのは感じてはいます。</p> <p>また、先ほどスマートミールというお話がありました。今度の意識調査でそれも少し挙げてみたらいいのかなと思いました。年代はやっぱり分けられるのでしょうか。</p>
事務局	18歳から無作為という形で約2,000名抽出します。年代は平均的になるよう抽出される予定です。
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>年代によって全く違ってきますし、あと地域によってもかなり違ってくると思います。</p> <p>また、「かてめし」なのですが、小学校や中学校だと給食で必ず出てくるので、保護者の方も皆さんご存じだと思うのですが、高齢者や、八王子で生まれ育った中高年の方も意外と知らなかったりするのです。私たちの食堂でも作ってみようかなと思います。色々な年代で周知すると八王子がもっと盛り上がって食文化も広がっていくと思いました。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>高齢者の食事と云いますと普段から気にさせていただいて、関心を持って活動をしていただいている立場から一言お願いいたします。</p>
委員	<p>体操教室など通いの場に参加する高齢者は元気な方が多く、積極的に情報交換もされているようですが、家に閉じこもりがちな高齢者に対してどのような取り組みがなされているのか気になるところです。</p> <p>有益な情報の中にも注意を要する場合があります。例えば「ベジ・ファースト」という言葉はだいぶ浸透してきましたが、食が細くなった低栄養の高齢者にとっては推奨できないという意見もあります。このような情報もしっかり発信していただければと思います。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>八王子集団給食協議会の立場から一言お願いいたします。</p>
委員	<p>弊社では血液をサラサラにしたり、筋肉がつきやすくなるような健康に配慮した食品の販売や、製造工程においても環境に配慮したサステナブルな商品の拡大を全社的に取り組んでいます。</p> <p>意識調査などでも、健康領域の商品、環境に配慮した商品など、市民の皆さんがどういったところに興味を持って商品を選んでいるのかを入れていただけるとありがたいです。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学識経験者として一言お願いいたします。</p>
委員	<p>今回初めて会議に参加しましたが、八王子市でこれだけたくさんの食に関する活動がなされていることに大変驚きました。私が所属しているのは大学なのですが、大学生も主食・主菜・副菜の揃っていない食事をしているという人が多いので、そのような実態が何かの調査で明らかになれば良いなと思いました。また、産学官連携でメニュー開発を行ったものも、学食などでコラボレーションしていただけると、食に興味の無い学生も興味が出てきたりすると思いました。興味のある方ももちろんですが、興味のない方にも知っていただくことが大切なのではないかと思いました。</p>
保健所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日の報告事項は終了いたしました。その他に移ります。まずは、全体を通して、ご質問、ご意見等はございますか。</p>
委員	食環境整備事業の説明の中で、企業や団体との連携という項目がありましたが、民間企業が小

	学校や中学校に出向いて食育の話や生活リズムの話をするような取り組みはありますか。
保健所長	<p>実際の実施については本日お答えできかねますが、ご意見をいただきましたので、学校教育の部署とも連携して取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>企業との連携ということでもまた別の角度からにはなりますが、市内にある企業の従業員の方も健康になっていただくようなことを市から情報提供をするなど積極的に取り組んでいくことが必要だと感じています。来年度改定する食育推進計画の中に入れられたら良いと思っております。</p> <p>最後に事務局より、連絡事項をお願いします。</p>
事務局	<p>本日、お配りしているご意見シートについては、追加でご意見がありましたら、ご記入いただき、8月2日(金)までに、下記に記載のメールアドレスまたはFAXでご提出をお願いいたします。</p> <p>今後の予定について説明します。第2回八王子市食育推進会議は書面にて、実施させていただきます。市民意識調査について、本日皆さまから頂戴したご意見やご提案等をふまえて調査項目の最終案等をお送りいたします。概ね9月上旬から中旬ごろを目途に委員の皆様にお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。第3回八王子市食育推進会議については、来年の2月頃に対面での開催を予定しております。実施した市民意識調査結果の速報値等をお伝えする予定でありますので、よろしくお願いいたします。</p>
保健所長	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>皆様にごいただいたご意見を参考に、本市の食育事業を推進して参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。これで閉会とさせていただきます。ありがとうございます。</p>